日本共産党 神戸市議団
市議会だより

2025年８月24日（日） No.375

発行　日本共産党神戸市会議員団
神戸市中央区加納町6-5-1
神戸市議会内　TEL 322-5847　FAX 322-6165

日本共産党
神戸市会議員団のホームページ
日本共産党神戸市議団　検索

外郭団体特別委員会審査から①

神戸市議会外郭団体に関する特別委員会の審査が７月10日と31日にひらかれ、日本共産党神戸市会議員団の赤田かつのり議員と森田たき子議員が外郭団体の運営状況などについて質問しました。

7月10日　経済観光局

一般財団法人 神戸観光局

神戸の観光施設を生かしリピーター獲得へ

―――― 森田たき子議員

一般財団法人神戸観光局は、2021年から観光客の利便性と満足度向上を目的に、人気の観光施設を定額で周遊できる「KOBE観光スマートパスポート」などの支援をおこなっています。しかし、観光客数は順調に回復しているにも関わらず2024年度のパスポート販売数は前年度と比べ1500枚減少しています。森田議員は、豊富にある市内の観光施設をしっかりアピールして、リピーターにつなげるための努力が必要だと質しました。また、市内の小・中学生が対象の「のびのびパスポート」を高校生まで拡大すべきと求めました。

答弁ダイジェスト

常務理事：（スマートパスポートの）減少の要因は、各施設の値上がりを踏まえたパスポートの値上げだ。神戸を周遊するためのツールとして重要なので利用促進に努めたい。高校生には、教育旅行で神戸に来た小・中・高校生向けの「学遊パスポート」がある。

森田議員：集客を伸ばすためには課題を精査し、リピーター獲得できるよう努力すべきだ。「学遊パスポート」では修学旅行や校外学習などの集団でしか（高

校生は）使えない。神戸の魅力を伝え、いろいろな経験を積んで神戸に住みたいと思ってもらえるように、対象を拡大すべきだ。

その他の質問

- 大阪・関西万博関連プロモーションについて　――赤田かつのり議員

公益財団法人 こうべ産業・就労支援財団

幅広い調査で中小企業の実態に見合った支援を

―――― 赤田かつのり議員

公益財団法人こうべ産業・就労支援財団は、いきいき勤労財団と産業振興財団が統合し、神戸市内の中小企業支援やシルバー人材センターの運営などをおこなっています。赤田議員は、昨年度財団がおこなった中小製造業や非製造業系の訪問調査の結果について、原材料高や円安の影響が大きいことを指摘し、市内の経済団体や企業に対して、雇用や賃金、下請単価の維持・確保を求めるべきと質しました。

答弁ダイジェスト

民部副局長：物価高対策と賃上げは既に経済団体に申入れをしている。

赤田議員：308社に送付して訪問調査しているが足りないのではないか。ワンストップ相談窓口では、金融・経営等総合相談と技術上の問題点全般を含む専門家の相談は年々件数が減り続けている。なぜなのか。

常務理事：年によって凸凹はあるかと思う。

赤田議員：分析ができていないということだ。中小企業の大変厳しい状況が背景にあり、相談する余裕や体力もなくなってしまっているのではないかと思う。

もっと幅広く調査すべきだ。

その他の質問

- シルバー人材センターの契約件数について

９月２日より９月議会がはじまります

９月　2日（火）	本会議（議案質疑　未定）	９月30日（火）	意見表明・意見決定
3日（水）・4日（木）	常任委員会	10月　2日（木）	本会議（議案質疑　未定）
8日（月）・9日（火）	本会議（代表質疑）	3日（金）・6日（月）	常任委員会
10日（水）～22日（月）	決算特別委員会局別審査	9日（木）	本会議（討論）
26日（金）	決算特別委員会総括質疑	10日（金）	本会議（一般質問）

一般財団法人 神戸農政公社

農家の皆さんが継続できるよう直接支援を

――――― 森田たき子議員

一般財団法人神戸農政公社は、農業振興の一環として2022年度から農作物を栽培する農家を対象に、堆肥購入費の一部補助をおこなっています。森田議員は、１トンあたりの補助額が昨年度よりも大幅に下がったことで畜産農家から不安の声があがっていると指摘し、農家の皆さんの経営支援のために補助額を安定させるべきと質しました。

答弁ダイジェスト

上田副局長：堆肥を供給する畜産農家の戸数は同じだから支援額は下がるが、その分使われる耕種農家の数が増えて予算は広がる。できるだけ多くの方に堆肥を活用いただけるように（堆肥を乾燥させて圧縮させた）ペレット堆肥の活用も進めていきたい。

森田議員：この補助は畜産農家の経営を支援する目的でもあるので安定させる必要がある。また、公社が製造販売をしているペレット堆肥の今年度の製造目標に必要な牛ふん堆肥は600トンということだが、何件ほどの畜産農家が手を挙げているのか。

椿野局長：現状では西区でふん尿処理しているところからの調達のみで、他には声をかけていない。

森田議員：今後は情報公開もして、畜産農家から直接購入して支援することも必要ではないか。

椿野局長：昨年度から始めて、まだ試行錯誤でつくっている。軌道に乗れば検討する。

7月31日　地域協働局

公益財団法人 神戸国際コミュニティセンター

外国人労働者の労働条件の改善を

――――― 赤田かつのり議員

公益財団法人神戸国際コミュニティセンター（KICC）は、留学生支援事業や在住外国人のための生活相談・就職相談、日本語学習の支援などをおこなっています。赤田議員は、日本国内で外国人労働者を雇用する事業所数と労働者の増加に伴って生活相談の件数が年々増加傾向にあると述べ、外国人労働者の労働条件の改善を求めました。

答弁ダイジェスト

常務理事兼事務局長：2024年度の生活相談は913件で、その多くは留学生の卒業後の就労相談だ。労働環境についての相談は17件だ。そのような相談があった場合は、労働基準監督署や弁護士の無料相談を案内している。

赤田議員：この（労働環境についての相談の）中に「賃金の未払い」があった。外国人労働者が労働法に認められた労働者としての権利が保障され、人間らしい営みができるような労働条件の改善が必要だ。

7月31日　福祉局

公益財団法人 こうべ市民福祉振興協会

利用者の声聞いて安心して使える施設に

――――― 森田たき子議員
赤田かつのり議員

公益財団法人こうべ市民福祉振興協会は、王子スポーツセンターなどの指定管理をはじめ、しあわせの村の運営や保養センター太山寺・ラジウム温泉太山寺の賃貸借契約による収益事業、介護保険認定調査業務などをおこなっています。保養センター太山寺・ラジウム温泉太山寺は、地域住民だけでなく海外からの技能研修生や大学生など、幅広く利用されている貴重な交流の場ですが、施設の老朽化が深刻な問題になっているなか、来年３月で運営事業者との契約が満了となります。森田議員は、事業者優先ではなく地域住民や利用者の皆さんが安心して利用できる施設にすべきと求めました。

また、赤田議員は介護認定調査について、申請変更を求めた結果、実態に合わない軽度の区分になり困ったという相談者の例を挙げ、調査員を増やして改善すべきと質しました。

答弁ダイジェスト

森田議員（保養センター太山寺・ラジウム温泉太山寺の賃貸借契約について）

常務理事：改修は必要だが、賃料収入より修繕費や管理費などの運営費用が上回り赤字続きだ。当協会が改修費用をおこなっても賃料で回収できる見通しが立っていないので、現行の賃貸借契約で事業を継続していくことは難しい。現在サウンディング調査をおこなっている。

森田議員：事業者が難しいのであれば、福祉局から公的な支援をして営業を継続するべきではないか。

小園副局長：市が財政支援することは慎重に検討すべきと思っている。

森田議員：民間事業者は利益を追求する。公共施設を設置した目的とは違う。地域住民や市民の意見はどのように聴取するのか。

常務理事：まずは調査に参加する事業者の話を聞いて運営継続に向けて模索していきたい。

森田議員：市民福祉の向上に寄与することが協会の目的だ。事業者優先ではなく、今後料金を値上げせず利用者の皆さんが安心して利用できるようにすべきだ。

赤田議員（介護認定調査について）

赤田議員：変更も合わせて申請は増加傾向にある。変更の申請は状態が悪くなっているのに軽く認定されたという方が多いのではないか。

小園副局長：様態が進行したから変更申請をされていると認識している。

赤田議員：私が受けた相談の中では実態に合わない調査結果が出て困ったという方がいた。他にもたくさんいるのではないか。申請件数が増えているなら、こういった方々の対応ができるようにスタッフを増やすべきではないか。

常務理事：我々は公平性が担保されるように全国一律の基準に基づいて調査し、最終的には主治医の意見書も含めて市の認定審査会で判定される。

赤田議員：介護保険制度で給付金が削減されることが根本的な問題だ。不安や心配な思いをされる方が増えないように改善すべきだ。

その他の質問

● しあわせの村のリニューアルについて
――森田たき子議員